

第9回 書評コンテスト

先生が選んだ課題図書を読もう
まずは、図書館へGo！

まだ読んでいない人に
その本の「核心」を伝えよう



最優秀賞 3万円
優秀賞 2万円
奨励賞 1万円

応募者全員に参加賞

9月2日(月)
応募開始

-----課題図書は裏面をご覧ください-----

- ▶対象：学部学生
- ▶形式：Word形式 A4 1行40字 1ページ36行（明朝推奨）
本文 2,000～2,400字
※本文以外（タイトル等）は文字数に含めない。
- ▶応募方法：E-Mailに添付し図書館へ送信 lib@cuc.ac.jp
- ▶締切：10月28日(月) 必着！！

図書館Webサイトに「応募要項」「文書テンプレート（ダウンロード可）」を掲載しています。

※書評には必ずオリジナルのタイトルを入れてください。

※他人の書評の丸写しや、一部の書き換えで自作としたことが判明した場合は、選考の対象外となります。

※応募作品の使用権は千葉商科大学付属図書館に帰属します。

※作品の応募は、一人一編までとします。

課題図書	著者名	出版年
「戦前」の正体：愛国と神話の日本近現代史 (講談社現代新書)	辻田 真佐憲	2023
死の貝：日本住血吸虫症との闘い (新潮文庫)	小林 照幸	2024
未婚と少子化：この国で子どもを産みにくい理由 (PHP新書)	筒井 淳也	2023
思考停止という病理：もはや「お任せ」の姿勢は通用しない (平凡社新書)	榎本 博明	2023
私が見つかったコモンと民主主義 ：日本人女性移民、ヨーロッパのNGOで働く (晶文社)	岸本 聡子	2022
論語と算盤：現代語訳 (ちくま新書)	渋沢 栄一【著】 守屋 淳【訳】	2010

書評とは？

- ▶ 書評 (book review) とは、まだ読んでいない人に「その本の価値」を紹介する文章。「その本の価値」とは「読むことで〈世界の見え方〉がどう変わるか」ということ。
- ▶ 読書感想文と似ているが、感想文は「自分」の思ったことが中心、書評は「その本」が主役、という違いがある。
- ▶ 自分の感想を超えて、その本の「核心」をつかみだすのが書評。書評では、「ここが核心だ」と思うところを、読んでいない人に分かるように説明する。
- ▶ 自分が読んだ時の感想は、出発点としてはとても重要。書評の中に書かれていてもいい。しかし、感想で終わってしまうと書評とは呼べない。

ポイント！

「〇〇な人にはぜひ本書を読んで欲しい」といったオススメは、「核心」を伝えるのに必要でないなら意味はない。文章力も重要。応募する前に、誤字脱字はもちろん、分かりにくいところがないか、きちんと確認しよう。

